

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)五十鈴北陵の里	階数	地上3F
建設地	京都府福知山市	構造	RC造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	39 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2011年3月7日
敷地面積	5,480 m ²	作成者	松村 正希
建築面積	1,511 m ²	確認日	2011年3月7日
延床面積	3,172 m ²	確認者	松村 正希

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	環境との調和を図る。 高齢者の住宅として、プライバシーに配慮した平面計画 全電化の採用と太陽光発電設備を設置	その他 深夜電力の利用した空調機器(エコアイス)、電気ヒートポンプ式給湯器、電気蓄熱式床暖房を使用し、電力のピークシフトに寄与し二酸化炭素の削減につながる。
Q1 室内環境	空調機器の個別制御 化学汚染物質による影響の削減	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境との調和
LR1 エネルギー	全電化 太陽光発電設備の設置	LR3 敷地外環境 高効率照明器具、高効率空調機器の使用 全電化により、燃焼器具を使用しない
Q2 サービス性能	「住宅」をコンセプトに内装材に木材を多用 耐久性の高い配管材料を使用 水槽を除き地下に設備を設けない	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材料の使用 部材の再利用可能性向上の取り組み	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された